

2018 年度

アメリカコース留学報告書

実習先：セントラル・ミズーリ大学

実習期間：8月22日（水）～12月6日（木）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21017136
渡部慧介

目次

1	研修先及び実習期間	3
2	研修先概要	3
3	研修の目的	3
4	研修内容	3
	4-1 研修のスケジュール	3
	4-2 研修の詳細	5
5	所感	6
6	おわりに	7
	謝辞	7

付録

	研修日誌	7
--	------	---

1 研修先及び実習期間

研修先：セントラル・ミズーリ大学 Intensive English Program

研修期間：平成 30 年 8 月 22 日（水）～12 月 6 日（木）

※帰国は 12 月 7 日（金）

2 研修先概要

(1) 大学について

セントラル・ミズーリ大学は、アメリカ合衆国ミズーリ州のウォレンズバーグに位置する公立大学である。15000 人近くの学生が在籍しており、150 以上の専攻課程が用意されている。ウォレンズバーグは、静かで治安もよく、勉強に適した環境である。

(2) 大学で行われている教育について

セントラル・ミズーリ大学での研究の分野は、ビジネス、社会学、医療、工業、や芸術など多岐にわたる。今回参加した Intensive English Program (IEP) は、英語を母語としない人に向けた語学コースで、各個のレベルに合わせクラス分けが行われるので、1 クラスの人数は少なく、どの学生もしっかりと先生の指導を受けることができる。

3 研修目的

今回の研修の目的は、主に英語力向上と異文化理解の 2 つである。英語力向上という目標に関しては、特にリスニング力とスピーキング力を伸ばしていきたい。単なる知識としてではなく、相手とのコミュニケーションを図るツールとしての英語を身に着けること、またそのために今の自分に足りない部分を自覚することを目標とする。加えて、3 か月半アメリカで生活することで、現地での生活ぶりを体験し、異文化についての理解を深めるだけでなく、日本の在り方をその外側から見つめ直す視野を得ることを目的とする。

4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4-1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下の通りである。

月	日（曜日）	内容
8	22（水）（日本時間）	出国
	22（水） ～ 25（土）	到着、オリエンテーション バレー観戦

	27 (月) ～ 31 (金)	授業開始、IEP クラス
9	3 (月) ～ 7 (金)	IEP クラス アメリカンフットボール観戦
	10 (月) ～ 14 (金)	IEP クラス
	15 (土)	課外活動
	17 (月) ～ 21 (金)	IEP クラス
	22 (土)	課外活動
	24 (月) ～ 28 (金)	IEP クラス
	10	1 (月) ～ 5 (金)
9 (火) ～ 12 (金)		IEP クラス ハロウィンパーティー
15 (月) ～ 19 (金)		IEP クラス
21 (日)		ハロウィンパーティー
22 (月) ～ 26 (金)		IEP クラス
29 (月) ～ 31 (水)		IEP クラス ダウンタウン観光
11		1 (木) ～ 2 (金)

	5 (月) ～ 9 (金)	IEP クラス
	12 (月) ～ 16 (金)	IEP クラス カンバセーションパートナーと食事
	17 (土)	秋休み開始
	18 (日) ～ 23 (金)	サンクスギビング ニューヨークに旅行
	24 (土) ～ 25 (日)	秋休み終了
	26 (月) ～ 30 (金)	IEP クラス
12	1 (土)	課外活動
	3 (月) ～ 4 (火)	IEP クラス
	5 (水)	アワードセレモニー
	6 (木)	帰国

4-2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下の通りである。

i) IEP クラス

主に英語について学ぶ授業である。なかには、アメリカや日本の歴史や文化を英語で学ぶものもある。授業科目は、Reading、Writing、Grammar、Communication Skills、Accent Reduction、TOIEC、Seminar in American Culture、American History、USA - Japan Relations English Caféがあった。課題は個々で取り組むもののほかにも、他の学生と協力して進めるものもあった。

ii) 課外活動

主に ELI (English Language Institute) の先生方が企画してくれ、基本的に無料で参加できる。カンザスシティに観光に行ったり、校内でゲームや食事を楽しんだり様々な活動がで

きる。

iii) バレー、アメリカンフットボール観戦

大学のチームの試合を観戦する。セントラル・ミズーリ大学の学生であれば無料で入場できる。アメリカンフットボールの試合は特に盛大に行われ、大学の敷地内で屋台や催し物が出たり、購買と連携してセールが行われたりする。

iv) カンバセーションパートナー

English Caféに参加する IEP の学生には、カンバセーションパートナーがつき、定期的にコミュニケーションをとったり、遊んだりする。一度、一緒に日本食のお店で食事をしたこともあった。

v) サンクスギビング

大学はサンクスギビングデイまでの1週間は休みになる。この連休中に、5泊6日のニューヨーク旅行を計画し、友人たちと観光を楽しんだ。

vi) アワードセレモニー

先生から修了証書が渡される。式中にくじ引きを行い、当たった人に Door prize という景品を渡す役割があったので、同じチームの人と事前に話し合い、進行する際に話す内容、順序を決めて練習した。IEP の関係者が多く集まり、彼らと軽い食事を楽しんだ。

5 所感

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i) 英語力向上

今回の研修を通して、英語力は向上したと考える。特に、リスニング力とスピーキング力を伸ばすことができた。研修先に到着した当初は、先生や他の学生の英語はほとんど聞きとることができなかったが、時間が経つにつれ、少しずつ相手が何を言っているのか理解できるようになった。また、聞き取れなくても、落ち着いて聞き返す余裕もでき、次にどのように英語で返すか考える習慣もついた。また、正しい発音を身につける必要性を感じた。正しい発音を知らなければ、正しく発音できないばかりでなく、相手の英語を聞き取ることも困難になることを痛感した。今後は、今まで以上に正しい発音にこだわって勉強していく必要がある。リーディング・ライティングの面でも、英語で著者の意図を読み取りや、正式な形に乗っ取って長文を書く技能が身についた。

ii) 異文化理解

3 か月半アメリカで生活することで、日本での生活との違いや共通点を発見でき、それぞれの良さを知った。また、現地の学生であるルームメイトや、IEP の学生との交流を通じて、彼らの生活ぶりを間近で見ることができた。

6 おわりに

今回の研修は、3 か月半と短い期間ではあったが、その間に色々な経験をする事ができ、とても有意義なものであった。また、様々な国からやってきた他の IEP の学生と交流を深めることができたのも、貴重な体験であった。彼らとコミュニケーションをとるなかで、共通言語としての英語がもつ有用性を改めて実感できた。今回の経験を活かし、今後の大学生活をより一層学びのあるものにしていきたい。

謝辞

今回、セントラル・ミズーリ大学 Intensive English Program にて懇切丁寧な指導をしてくださった Valerie Heming さん、Suzanne Beck さん、Jill Thomas さん、Laura Kennish さん、Amber Scroggs さん、Miryan K Andaku さん、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の事前研修、現地でのサポート、帰国後の各種活動への指導を賜りました、藤本直生先生、矢口裕子先生、小林伊織先生、佐藤広樹さん、その他の先生方、学務課の方々には心より感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、本セミナー参加が実現し、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。

付録・研修日誌

8月22日 水曜日
出発 11時45分
担当 矢口裕子先生
内容 ・長岡駅からジャンボタクシーで成田空港まで移動、矢口先生と合流 ・成田空港からダラスまで向かう ・ダラスで入国審査、乗り換えてカンザスシティに向かう ・カンザスシティからセントラル・ミズーリ大学まで車で向かう

移動の所感

10時間以上の飛行機での移動でかなりの疲れがたまったが、周りに迷惑をかけることなくスムーズに移動できた。

8月22日(水)～25日(土)

オリエンテーション
担当 Valerie Heming Suzanne Beck
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・健康診断 ・g mail、校内 Wi-Fi の登録 ・Walmart で買い物

オリエンテーションの内容

オリエンテーションで先生方と顔を合わせ、学校生活についての説明がされた。健康診断も問題なく無事終わることができた。Walmart で生活に必要なものを買そろえ、来週から始まる授業に備える。

8月25日 土曜日
バレー観戦
内容 セントラル・ミズーリ大学のチームと他校の試合を観戦

所感

女子バレーボールチームの試合を観戦した。設備が充実しており、実況がついたり日本のものと比べ派手な印象を受けた。



9月7日 金曜日

アメリカンフットボール観戦

内容

セントラル・ミズーリ大学のチームと他校の試合を観戦

所感

アメリカンフットボールの試合を実際に観戦したのは初めてだった。かなりの数のギャラリーがあり、盛り上がっていた。



9月15日 土曜日

課外活動

インストラクター名 Valerie Heming

内容

- ・ゴルフ
- ・カンザスシティ観光
- ・ショッピング

具体的内容および所感

ELIの先生方がカンザスシティ観光を企画してくれたので、カンザスシティまで行くことができた。普段自分の力だけでカンザスシティまでいくのは経済的に難しいので、いい機会であった。ゴルフの練習場でゴルフと同時に食事を楽しんだ。授業では見ることでできない、先生や他の学生の違った一面を見ることができた。設けられた自由時間でカンザスシティ観光とショッピングを楽しんだ。書店で本を一冊購入した。



9月22日 土曜日
課外活動
インストラクター名 Valerie Heming
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・食事 ・カンザスシティ観光 ・ショッピング

具体的内容および所感

民族料理が楽しめるレストランで食事をとった。学食ではなかなか食べることのできないお米を食べることができた。カンザスシティの商店街などを見て回った。

10月12日 金曜日
ハロウィンパーティー
インストラクター名 Valerie Heming
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・屋外でホットドッグ、焼きマシュマロづくり ・カボチャのペイント

具体的内容および所感

屋外で焚火を囲み、ホットドッグなどを各自で焼いて、楽しんだ。そのあとは、一人一人が好きなように自分のカボチャに色を塗る活動をした。授業外でも先生方とのコミュニケーションを楽しめるので、このようなイベントは積極的に参加した。

10月21日 日曜日
ハロウィンパーティー
インストラクター名 Valerie Heming
内容 ・ 仮装を楽しむ ・ お化け屋敷

具体的内容および所感

多くの学生が仮装を楽しんでいた。どの仮装も力が入っていて、見ているだけでも楽しめた。ウォレンズバーグの歴史を学びながら楽しめるお化け屋敷に行った。楽しみながら、英語のトレーニングができた。

10月29日 月曜日
ダウンタウン観光
内容 ダウンタウンを観光した

所感

友人とダウンタウンをみてまわった。雑貨屋や古着屋に行ったほか、カフェでアイスクリームを無料でもらった。

11月15日 木曜日
カンバセーションパートナーと食事
内容 カンバセーションパートナーと食事をした

所感

この日は、友人とカンバセーションパートナーと一緒に日本食のお店にいった。日本やアメリカの違いや、お互いの生活についての会話が弾んだ。また、お味噌汁やご飯が日本のものと同じ味がして驚いた。

11月18日（日）～23日（金）
サンクスギビング
内容 連休中にニューヨークへ旅行

所感

連休を利用し、友人と5泊6日のニューヨーク観光を楽しんだ。有名な観光スポットや建築物を見てまわったほか、買い物も楽しんだ。一番良かったのは、メトロポリタン美術館だった。たくさんの作品を間近で見ることができて、感動した。

12月1日 土曜日
課外活動
インストラクター名 Valerie Heming
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ネルソンアトキンス美術館で鑑賞 ・レストランで食事 ・カンザスシティ観光 ・ショッピング

具体的内容および所感

研修中最後のカンザスシティ観光であった。日本と違い、お店の中でお手洗いがなかなか見つからず苦労した。書店でランプを購入した。

12月5日 水曜日
アワードセレモニー
インストラクター名 Valerie Heming
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・修了証書を受け取る ・代表の人たちによるスピーチ ・軽食 ・Door Prize ・写真撮影

具体的内容および所感

Door prize member に選ばれていたため、本番までに何度か先生方、他の学生と打ち合わせをした。Door prize とは式中に参列者に贈られる景品であり、これを渡す流れの中で面白おかしく会話をし、場を沸かせながら、景品を贈るのが Door Prize member の役割であった。本番は緊張したが、なんとかやりきることができた。IEP の関係者が多く参加し、一緒に食事・会話をしながら、先生方、代表の学生のスピーチを聞いた。式の最後に、先生方から修了証書を受け取った後、写真撮影をして解散した。事前に準備してきたので、式が終わった後は達成感があった。